

柏商工会議所“環境アクションプラン”

【令和5年度～令和7年度】

1. 策定主旨

2023年7月の世界の平均気温は、観測史上、最も暑かった。この事態を受け、国連のアントニオ・グテーレス事務総長は「地球沸騰化」の時代に入ったと警笛を鳴らした。

世界的に脱炭素社会へ向けた動きが加速する中、日本では令和2年10月に菅総理大臣が「2050年カーボンニュートラルの実現を目指す旨を宣言しました。

千葉県では、令和3年2月に熊谷知事が「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言」、柏市では、令和4年2月に太田市長が「柏市気候危機宣言 ～ゼロカーボンシティ～への挑戦」を行いました。

柏商工会議所は環境アクションプランを基軸に、～ゼロカーボンシティ～の実現を目指して環境保全と経済活動を両立させた取り組みを行い、地域産業の持続的発展の下支えとしての役割を果たすよう努めます。

2. 基本方針

地域総合経済団体として、行政や地域、各種団体等と連携を図りながら環境保全の啓蒙に取り組み、～ゼロカーボンシティ～の実現に向けて会員企業が自主的・継続的な活動ができるよう積極的な支援を行う。

3. 実施体制・達成目標の検証

専務理事を責任者に、各部署の管理職がリーダーとなり、環境アクションプランを推進する。定期的に数値を検証、PDCAサイクルを活用して目標達成度合いの検証を実施する。検証結果を会頭に報告する。

4. 実施事業

(1) 会員事業所の取り組みへの支援

- ・日商「CO2 チェックシート」の周知、利用促進
- ・ゼロカーボンシティ推進委員会の活動強化
- ・会報、HP、メール配信による支援制度の情報発信

(2) 地域・行政等と連携した支援

- ・行政への施策要望活動の実施
- ・行政、関係機関と連携した各種施策、キャンペーン等についての周知協力

(3) 事務局内の環境対策活動の推進

- ・5 S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）活動の徹底
- ・コピー用紙の使用量削減（両面集約印刷機能の活用）
- ・会議用資料や事務手続き書類の簡素化、資料作成時は「紙1枚」にまとめる
- ・会館内等での不要時消灯の徹底
（貸出がないフロア及び更衣室等不使用時は消灯、残業時はエリアを限定）
- ・事務室や会議室の空調の適温化（夏は26℃、冬は20℃が目安）
- ・必要な区域や時間を限定した空調使用、貸出がない会議室の空調の停止
- ・社用車の使用抑制（柏市役所等近隣2 km以内は徒歩、自転車を利用）
- ・設備機器の定期的な清掃、交換等の適切な管理
- ・ごみの減量化と分別
- ・食品ロスの削減（総会、懇親会等における発注量の見直し等）